

白老駅周辺 準備万端

ウポポイ（民族共生象徴空間）の開設まであと37日となった3月14日朝、JR北海道が停車拡大した特急「北斗」の一番列車が白老駅に乗り入れた。当日正午には白老町が同駅に併設整備した自由通路が供用を開始。新型コロナウイルスの拡散防止のため、企画していたさまざまな歓迎イベントが中止となったが、当日の様相と駅周辺の変貌を写真で紹介する。

歓迎 特急「北斗」

気持ち



式典は全て中止となったが、せめて横断幕で歓迎の気持ちを



視察



JR北の島田修社長も訪れ、戸田町長の案内で周辺を視察した

新築の匂い



三々五々、渡り初めを始めた町民。「りっぱなものができたね」「便利ね」と感想

自由通路 供用開始

見晴らし



自由通路踊り場から見えるウポポイ施設

思い出



自由通路供用開始と同時に閉鎖、解体される旧跨線橋。通路一番乗りを果たした地元高校生グループは、高校は別々だが「中学生の時に登下校で使った。思い出がいっぱい」と橋を背景に記念写真を撮り合っていた

自由通路と駅内を結ぶ臨時改札口は4月24日から供用開始予定



自由通路の南北に設置されたエレベーター。駅内にも2基が設置された



バリアフリー

生まれ変わった駅舎と周辺

モダン



道が整備した駅前広場も暫定供用を開始。広場を囲む上屋もモダン



乗り場の柱番号まで分かる最新の電光掲示板(左)。クレジットカード専用券売機

期待



4月に供用開始する駅内の改修観光案内ブース